

Weekly Bulletin 2022-2023



RI会長
ジェニファー・ジョーンズ



IMAGINE
ROTARY

静岡東ロータリークラブ

会長/山下勝央 幹事/杉山輝光

事務局/静岡市葵区追手町2-12 静岡安藤ハザマビル5F TEL054-254-5611

例会場/ホテルアソシア静岡 例会日/毎週 木曜日 12:30~13:30

<http://www.shizuoka-east-rc.jp>



会長
山下勝央

第 3051 回例会 令和5年2月16日

《司会》 杉山輝光 君

《合唱》 それでこそロータリー

《ソングリーダー》 竹内 竜也 君

《ゲスト》 なし

《ビジター》 なし

《本日のお祝い》

・お誕生日

2月22日 佐橋 徹君

2月23日 生形 秀之君

・結婚記念日

・該当者なし

《会長挨拶要旨》 山下勝央 会長

本日は第 3051 回例会となります。本日も宜しくお祝い申し上げます。

自分の仕事は電気設備の設計施工、太陽光発電設備の設計施工、2つの会社の 経営をしております。

昨年冬、暖房機器を使う頃から「会社の電気料金が上がってしまって、これではやっていけない」とか、「自宅の電気料金が倍近くになって困っている」とか、「電気料金を下げるにはどうしたら良いか」など、ほぼ毎日の様に相談が来ます。2021年4月より上がり始めた電気料金は、約2年間下がることは一度もなく、ただ上昇を続けております。この電気料金が上がっている要因は 2つあります。「再エネ賦課金単価」と「燃料費調整単価」となるのですが、今回の異常な電気料金の急上昇は「燃料費調整単価」による影響が大きいのです。

皆さんご存じの通り、日本国は2011年3月に発生した東日本大震災により、原子力発電所は停止をしました。現在、国内電力の76%を火力発電所に頼っている状況の中、2022年2月からのロシアのウクライナ侵攻により、世界が化石燃料大国ロシア産の燃料の輸入をストップし、ロシア以外の国で採れる燃料の需要が高まり、値が上がり、そこに円安による輸入価格の上昇が電気料金に跳ね返ってきています。

先日、中部電力の役員さんにこの状況はいつまで続きそうなのか確認をしたところ、国からの要請もありここまでで一旦落ち着き、春先頃からはゆっくりではあるが下がっていく見通しです、と仰っていました。

ともかくにも1日でも早くロシアのウクライナ侵攻が終わることを願うばかりです。

《幹事報告》

2月16日(木) 中間会計報告

クラブフォーラム 会員卓話 望月康弘君

『「ロータリーの友」の変遷』

2月23日(木) 休例会

3月2日(木) クラブフォーラム(米山)

来賓卓話

公益財団法人米山梅吉記念館 理事長 松村友吉 様

「ロータリーと米山梅吉」

3月9日(木) 会員卓話 中島浩二君

3月16日(木) 来賓卓話 静岡県立大学 経済情報学部 教授・学長補佐 岩崎邦彦様

「引き算する勇氣：会社を強くする逆転発想」

3月23日(木) クラブフォーラム(公共イメージ向上)
国際ロータリー第2620地区2022-2023年度

公共イメージ向上委員会委員長

若林秀典様、委員 杉山茂範様

「公共イメージと認知度向上の重要性」

3月30日(木) 休例会

*4月以降は別紙「幹事報告」参照

会員卓話 望月康弘君 『ロータリーの友』の変遷
創刊まで

1952年(昭和27年)4月25日大阪市で開かれた地区大会
では次年度から日本が2つの地区に分割されることが決定
していた。

そこで2地区になってからも連絡を緊密にするため共通の
機関紙の創刊が企画された。

『ロータリーの友』の名前の由来:おつまみの「ビールの
友」からか、あるいは当時広く読まれていた「主婦の友」
と言う雑誌からヒントを得たとも。

創刊

1953(昭和28年)年1月創刊、発行部数3,300部横組み
でスタート。その後俳壇・花壇など一部の記事を縦組み
で入れることに1972年(昭和47年)1月号、従来の形式
を一変し、縦組みと横組みに分けた現在の形式に変更



『友』1972年1月号

1977年(昭和52年) 国際ロータリー(RI)に公式
地域雑誌の規定が設けられる

1980年(昭和55年)7月号、RI公式地域雑誌(現、ロ
ータリー地域雑誌)の認定を受ける

1986年(昭和61年)3月号モノクロから一部をカラーに。

「ロータリー・アット・ワーク(横組み写真ページ)」

トップの取材ページ

1991年(平成3年)世界のロータリー地域雑誌から[友]

誌が「RI会長総合優秀賞」(グランプリ)に選ばれた

1994年(平成6年)3月号 カラーページの増加

「ロータリー・アット・ワーク」のすべての写真をカラー

に。その後翌年にかけて「地区大会略報」インターアクト・
ローターアクト・交換学生もカラーになった

2002年(平成14年)7月号 創刊50年を迎えるにあたり、



2002年7月号

読みやすさに配慮して一般の雑誌より
少し大きくて太い文字を使用。B5版を
A4変型判に変更。

2003年(平成15年)1月 創刊50
年、新たな一步を踏み出す

2003年(平成15年)7月 すべて
のページを4色印刷(カラー印
刷)にした。

「ロータリーの友」のウェブサイトを開
設 www.rotary-no-tomo.jp 最新の

情報をいち早く届けることができるようになった。

2007年(平成19年)3月「ロータリーの友」のウェブサイ
トの名称を「ロータリージャパン」に改称、URLも

www.rotary.or.jpに変更し、会員への情報提供のほか広報
の役割を果たせるようになった。



2013年1月号

2013年(平成25年)1月
創刊60年

2013年(平成25年)4月
RI規程審議会で、ロータリ
ー地域雑誌について、会員は
印刷媒体と電子媒体のいづれ
かを選択して購読することが
決定。それまでは、雑誌の購
読がすべてのロータリアンの
義務とされていた。

2013年(平成25年)8月 RIから新しい公式ロゴならびに visual identity などに関する指針が発表されロータリー地域雑誌もそれに沿って編集するよう要請を受ける
2014年1月号電子版の発行をスタート

(www.rotary-no-tomo.jp)



2014年(平成26年)7月号
本格的に RI の新しい指針に沿ったデザインに変更

2016年(平成28年)7月号
A4変形判をA4判に変更
縦280mmから297mmと若干小さくなった。横は変わらず。

ウェブサイト「ロータリージャパン」をウェブサイト「ロータリーの友」

(www.rotary-no-tomo.jp) に統合



2017年(平成29年)8月号
表紙がイラストに変更された。

2018年(平成30年)

「The Rotarian」と地域雑誌を合わせた名称が「Rotary Global Media Network」となる。

ロータリーの地域雑誌は、世界に30誌余りあり、ROTARY誌と地域雑誌を合わせて「Rotary Global Media

Network」と総称される。



2020年(令和2年)7月 RI指定の表紙デザインに変更

2022年(令和4年)7月



「友」バックナンバーが全て電子版で読めるようになった。



公式ロゴの指針クラブ名は「Rotary」の文字と同じ側に表示し、「Rotary」の「y」

にそろそろよう、右寄せで表示する。「Rotary」の文字と歯車の位置と比率を変えることはできない。

「ロータリーの友」は、日本のロータリアン約8万9000人が購読している。地域雑誌の中ではインド・スリランカ他の12万1970部について多い。

The Rotarian 誌

2020年(令和2年)9月

「The Rotarian」が「ROTARY」に変更
発行部数は約50万部。ロータリークラブのある世界中の国や地域に送られている。

ROTARY誌の一部は無料でRIのウェブサイト

(<http://www.rotary.org>) で見ることができる。料金を払って購入すれば、スマホやタブレット端末で全文を見ることができる。

The Rotarian 誌

12ページの定期刊行物として誕生した『The Rotarian』は、発行部数が50万部を超える雑誌へと発展し、その後刊行された多くの地域雑誌にインスピレーションを与えてきました。

刊号は、1911年(明治44年)



1月に『The National Rotarian』として発行され、クラブのニュース、新しい加盟クラブの発表、ポール P. ハリスによるエッセイなどが掲載された。

カナダと英国でのクラブ結成により、雑誌名を『The Rotarian』に変え、1912年9月号からこのタイトルで発行された。

世界中でロータリークラブが結成されるようになり、各地域の視点を反映したニュースを掲載した地域雑誌が誕生。地域雑誌の第一号は、英国とアイルランドで1915年(大正4年)に創刊された。

地域雑誌

現在 31 のロータリー地域雑誌が発行されており、世界のロータリアンの半数以上が『The Rotarian』の代わりに地域雑誌を購読している。これらの雑誌は各地域のロータリアンにより独立して編集されるが、『The Rotarian』から指定される記事を、その地域で使われる言語に翻訳して掲載している。130 カ国以上、20 以上の言語で発行。

世界のロータリーの雑誌

アメリカの国際ロータリー（R.I.）本部で編集・発行しているR.I.の機関誌『ROTARY』に加え、R.I.に認可された地域雑誌を「機関誌」として定義されます。これらの雑誌は全世界に30誌以上あり、「ロータリーの友」も、その一部です。各雑誌では、その発行地域のロータリークラブやロータリアンの活動を紹介するとともに、R.I.に関する情報や、R.I.から要請された話題や特別に指定された記事に掲載しています。また、読者であるロータリアンとその家族が、関心を持つような役立つ生活情報などを含む記事も取り上げています。



『ロータリーの友』 所感

みなさま、こんにちは、栗田と申します。

昨年8月に入会をさせていただき、毎回楽しく参加をさせていただいております。

今日は「ロータリーの友」1月号の所感を、述べさせていただきます。2023年1月号は、創刊70周年の記念号で、『バックナンバーでたどる『友』70年』という記事が組まれています。この記事は9月号、11月号、そして1月号と三カ月にわたって掲載されており、創刊までの苦労話から、これまでのロータリークラブの歴史と成長が、学べる記事となっております。新人のわたくしには、クラブを知る絶好の号となっており、これからは永久保存版としてじっくり勉強したいと思います。

そして、わたくしは毎号楽しみにしている記事がございます。それは、「よねやまだより」「米山から世界の町へ」というタイトルで、外国人留学生を支援し、その経験や現状を紹介する記事です。私の会社でも外国人留学生や技能実習生を受け入れ、共に生産活動を行っており、今や製造現

場では欠かせない戦力になってくれています。

母国を離れ頑張っている彼らに、励みになればと思い、「よねやまだより」の記事をコピーして、彼らに読んでもらい、コミュニケーションツールとして利用させていただいております。12月号になりますが、ベトナム出身の米山奨学生の記事が書かれておりました。この記事を弊社のベトナム実習生に読んでもらったところ、活躍する同郷仲間の記事にたいへん感激をしておりました。

そして1月号の「よねやまだより」では、ラオス出身の米山奨学生がロータリークラブでの学びと日本での経験を活かし、母国ラオスで活躍する記事が掲載されております。私にとっては実にタイムリーな記事で、今年ラオスの実習生を迎えることになっており、

その仲間にもこの記事を紹介し励みになればと思っております。このように、「ロータリーの友」を通じて、海外から来てくれている仲間とコミュニケーションを取ることができ、とても有り難く感謝しております。東ロータリークラブに入会をさせていただき、皆さまのご縁で多くの学びをいただいております。

重ねて感謝を申し上げ、簡単ではございますが、「ロータリーの友」1月号の所感とさせていただきます。ありがとうございました。

『ロータリーの友』 所感

濁沢でございます。栗田会員と同じく昨年8月に入会させていただきました。今まで「ロータリーの友」を読んだことがございませんでしたが、所感発表にあたりじっくりと読んでまいりました。

拝読してみると自分の会社に伝えられることが多いと感じました。その中でも震災復興については共感いたしました。紙を作る機械を製造するメーカーとして、お客様が多くある福島、南相馬へは何度も支援にて足を運びました。その中でも流木の処理が非常に難しいという現実に向かい合いました。木を原料とする紙の製造に携わるメーカーとして出来ることはないかと考えました。熊本の震災時もそうでした。出向くことによって出来ることを考える。「ロータリーの友」を読み同じような内容を拝見し、会社でも伝え

られる内容があるのではないかと感じました。
今後は「ロータリーの友」を読み何かのヒントを感じていきたいと思います。ありがとうございました。

《退会の御挨拶》

青島 隆晴君

3月1日付で名古屋支店へ異動となります。

本日が最後の例会出席となってしまいました。予告もなくあまりに急なご報告で申し訳ありません。

生まれも育ちも焼津市なので身も心も地の人のつもりでしたが、仕事柄風の人であり異動となってとても寂しいです。山下会長から頂いた役員のお仕事も任期途中なので大変心苦しく、川口次期会長からも委員長のお話を頂いておりましたが、お力になれなくて本当に申し訳ありません。

ただ、会員減にならない様に後任者は既に決まっていますので直ぐに入会の手続きをさせて頂きます。また仲良くして頂ければありがたいです。

2017年12月に入会させて頂き5年2ヶ月所属させて頂きました。本当に皆様には良くして頂き、沢山の経験や勉強をさせて頂きました。特に第3000回記念例会の時、過去の会報から当クラブを深く知ることが出来た事は、非常に貴重な経験でした。会を離れますがロータリアンとしての誇りをもって、これからも行動していきたいと思えます。名古屋勤務ですが、実家が焼津にありますので毎週末帰ってきます。街で見かけたら「やあ！」とお声掛け頂き、お誘い頂ければ嬉しいです。

皆様のご健勝と静岡東RCのますますのご発展をお祈りいたしております。

長い様で短かった5年2ヶ月ですが、本当にお世話になりました。ありがとうございました。

落合 功男君

2021年1月末に静岡店長として赴任し、約2年という短い期間でしたが、このたびの人事異動で急遽都内への転勤になりました。来月3月からは、大丸松坂屋やパルコを束ねるホールディングスのJ.フロント リテイリング株式会社の品川オフィスでの勤務となります。

地元静岡出身の店長として、みなさまには大変お世話になりました。なかでも、推薦人でもある由利さまと島田さまには、温かく迎えていただき、感謝しかございません。

もともと経営からは「3年ワンサイクル」と言われていたので、最低でもあと1年は静岡の町を盛り上げるために注力するつもりでした。

課題も多く、積み残したまま去るのは非常に心苦しく残念なのですが、あらたなチャレンジととらえ、前向きに進んでいきます。とは言え、地元は静岡であり、後期高齢の両親を駒形に残しているため、月に一度は静岡に帰省してまいります。金曜の夜に帰ってくる予定ですので、ぜひ夜のお誘いをお待ちしています！

《スマイル報告》

佐野 哲一君（結婚記念日の御礼）

佐橋 徹君（お誕生日の御礼）

山下 勝央君（お誕生日の御礼）

青島 隆晴君

3月1日付で異動となりましたので本日が最終例会となります。あまりにも急な異動で大変申し訳ありません。

クラブで奉仕の精神を学びましたので会を離れても学んだ精神は持ち続け実行していきたいと思えます。感謝と皆様のご健勝をお祈り申し上げてスマイル致します。5年2ヶ月の間、大変お世話になりました。ありがとうございました。

(会報作成 藪崎 忍)